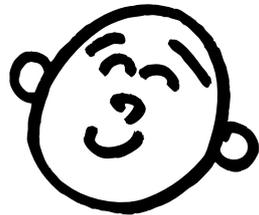




たかやんの市議会報告



新座市市議会議員 たかむらともや 総務常任委員 語る会]
ホームページ <http://www.takayan-world.com/cheeringparty/>

2007年 1月発行

2007年になりました！

2007年は気持ちのいい天気ですスタートしました。新座の財政、そして教育の問題は直ぐに解決できるようなものではありませんが、いつも晴れた心で取り組んでいきたいと思っています。友達からの年賀状に「愛を語るのではない、愛で語るのだ。愛で語れば全ての言葉が愛になる。」という言葉がありました。僕は新座の財政と教育を今年は「愛で語ろう」と思いました。僕が愛する新座。新座の財政が破綻しては大変です。僕の愛する新座の学校がこれ以上壊れてしまつては大変です。愛で語る「語る会」を目指そうと思います。

たかやん

12月議会つづき

質疑

9つの議案に対する質疑で本会議は始まった。質疑をするのは星川さんと共産党のメンバーと僕くらい... 与党会派は質疑すらしらない。与党だからこそ、質問をしたっていいじゃないの！と僕は思う。やらせ」の質問は困るけど、質問ゼロはないだろう。今の財政難の責任は与党会派にこそあるのだ。新座の市議会を活発にして、財政難から脱出するには、を与党会派が本気になることだと思うのだが...

いじめ

12月議会では8人の議員が「いじめ問題」を取り上げていた。そのせいか、市長より先教育長の方が答弁が多かったかも知れない。

隠蔽体質

教育長は「新座の教育委員会は隠蔽体質ではありません」と言っていたが、一人の議員が失神ゲームのあった学校名を言ったときの執行部の反応は不自然極まりないものだった。結局発言は取り消されたのだが... 学校名がでると、その学校の他の生徒達に不利益が生じる。そういう考え方があるらしい。陵平の事件の時の反応もそれに繋がっているのだと思う。もし本当に不利益が生じるとしたら... 他の5つの中学校の生徒達は今、その不利益を被っていることになる。学校名が出たって、いいではないか...。そこからみんなを出直せばいいのだから...

討論

第19号議案「難病患者に対する公費負担制度継続を求める意見書」に賛成討論をした。困っている人をみんなで助けようよ。そんな当たり前のことを反対する人はいないと思っていたのだが... 共産・刷新・革新無所属以外は反対。誰も好き好んで難病になった訳ではない。母さんも膠原病とサルコイドシスという難病を抱えているが症状が軽いという理由で、支援を打ち切られた。「透析をしている人も打ち切られているんですよ」とは母さんがかかっているお医者さんの言葉。勝手に馬鹿みたいな借金を作っておいて、苦しなってきたら弱いものいじめ。いつの世の中にも悪代官はいるものだが...

次に討論したのは「障害者自立支援法に関する陳情書」。厚生委員会では趣旨採択4名。採択2名で趣旨採択となった陳情だ。「こぶしの森」に通う方達の「悲鳴」が聴こえない人が多いらしく、またしても僕の採択すべきという討論は不発に終わった。

パワハラ

最近、パワハラの例もかなり耳にする。自分の子どもの卒業式に「年休」を取らせなかったとか... 1年、2年と学年主任を続けて、生徒からも、学年の教師からも信頼されていた先生が学年を外されたとか... 職員会議で原案に反対したら、校長室に呼ばれて叱責されたとか... みんな当事者以外から聞いているから、相当有名で酷い内容なのだ。言葉によるパワハラなどごまんとあるのである。僕も進路の査定会議で「進路指導」などしたことのない教頭にみんなの前で叱責されたことがある... 子供たちと一緒に卒業する積りだったから、どうでもよかったが、そうでなかったら、本当に困っていたと思う。学年の先生達で僕をかばってくれた先生はいなかったし... 当たり前だが、子ども達は全員希望校に入ってくれたけれど...

この2年間だけで、中学校3年の担任が3人も学期の途中で辞めていることが気になる。9月に二人。11月に一人... 普通じゃ考えられないことが2年で3人というのはいくらも異常なのである。僕は3人のうちの2人を知っているが、そんなに無責任な先生達ではない。何があったのかは分からないが、中学校の先生達のストレスは大変なものだろう...。言えることは「共通理解」に「同一行動」などという北朝鮮のような指導方法では子ども達はまともには育たないということだ。